

【件名】令和7年度中野区立小・中学校給食費の改定について

【要旨】

学校給食は、児童及び生徒の心身の健全な発達に資するものであり、学校における食育の推進を図ることを目的としており、教育的役割がある。また中野区では、安全安心な食材選びや伝統的な食文化の継承に配慮し、給食内容の充実を目指してきた。引き続き中野区が目指す給食提供を実現するため、物価高騰の影響や令和6年産米の価格高騰等の影響を鑑み、令和7年度の給食費を以下のとおり改定する。

1 給食費の改定

物価高騰の影響を受け、献立内容を工夫して対応しているが、今後もこの状況が続くと給食の運営に支障をきたす可能性がある。

来年度以降の牛乳・パンは値上げの可能性が高く、他の食材も少しずつ値上げ傾向にあり、令和6年産米も価格が上昇しているところである。今後も栄養面や食事量の確保と、学校給食を充実していくためには給食費の改定が必要であるため、令和7年度中野区立小・中学校給食費1食単価を以下のとおりとする。

		令和6年度 一食単価(円)	令和7年度 一食単価(円)	差額(円)
小学校	低学年	285	305	+20
	中学年	310	330	+20
	高学年	335	355	+20
中学校		375	405	+30

2 主な食材の価格変動

(1) 飲用牛乳

令和6年度の飲用牛乳の価格は、前年度に比べて+約4円となり、昨年度に引き続き大きな値上げ幅となっている。牛乳代金は給食一食単価のうち1.5～2割程度にあたり、ほぼ毎日提供するものであるため、その値上がりは給食会計を非常に圧迫するものである。

飲用牛乳は毎年値上げが続いており、特に過去2年間は原油や飼料の物価高騰から値上げ幅が大きく、現在も高騰傾向が続いている。よって、次年度についても値上がりすることが見込まれる。

	保護者負担額(円)
令和2年度	52.32
令和3年度	52.82
令和4年度	53.73
令和5年度	58.38
令和6年度	62.67

(2)パン、麺

毎年少しずつ価格上昇がみられ、小麦の価格は高止まりの状態であるが、輸送費や人件費等の上昇により、今後もパンや麺の価格は上昇する可能性がある。

	食パン(円)		丸パン(円)		冷凍うどん(円)	蒸し中華麺(円)
小麦粉量※	50g	70g	50g	70g	(kg単価)	(kg単価)
令和2年度	34.69	46.53	54.24	59.66	324.00	353.00
令和3年度	34.86	46.72	54.41	59.85	435.00	354.00
令和4年度	37.12	49.80	56.77	62.95	357.60	376.00
令和5年度	41.03	55.09	60.98	67.88	400.80	402.00
令和6年度	44.58	56.71	62.67	69.46	400.80	408.00

(3)米

区立小・中学校では週3～4回程度は主食が米飯となっているため、精米価格の動向も非常に影響が大きい。

令和6年8月に米の在庫不足に直面し、また令和6年米は生産コスト(肥糧、燃料、人件費等)の上昇等の影響により、前年産米と比べても大幅に価格が上昇している。

	あきたこまち (kg単価・円)	萌えみのり (kg単価・円)	ひとめぼれ (kg単価・円)
令和2年産米	369	324	—
令和3年産米	338	286	—
令和4年産米	356	305	—
令和5年産米	384	341	359
令和6年産米	622	538	580